

信州大学 シンポジウム

革新的炭素 Inno-C: Innovative Carbons 2012

日時:平成24年9月18日(火)13:00-19:30

会場:東京ステーションコンファレンス6F(千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー)

基調講演者

特別講演者



(独)科学技術振興機構(JST)
理事長
中村 道治



マサチューセッツ工科大学(MIT)
終身教授
Mildred S. Dresselhaus



東レ株式会社
専務取締役
阿部 晃一

特別講演者



(独)放射線医学総合研究所
プログラムリーダー
島田 義也

特別講演者



北海道大学教授
古月 文志



信州大学特別特任教授
遠藤 守信



信州大学特別特任教授
Mauricio Terrones



信州大学特任教授
Pulickel M. Ajayan



ペンシルバニア州立大学客員教授
Humberto Terrones



信州大学特別特任教授
金子 克美



信州大学特任教授
野口 徹



シュルンベルジェ株
開発本部長 山手 勉



信州大学特任教授
鶴岡 秀志

- シンポジウム:参加無料
- 意見交換会 :会費3,000円
(当日会場で申し受けます)

プログラム

第I部 カーボン科学の将来展望

- 13:00-13:10 主催者挨拶 国立大学法人信州大学 学長 山沢 清人
13:10-13:20 祝辞(独)科学技術振興機構(JST) 理事長 中村 道治
13:20-14:00 基調講演 [カーボン科学の今後の展望]
マサチューセッツ工科大学(MIT)
終身教授 Mildred S. Dresselhaus

第II部 Innovative Carbon への挑戦

1)放射能除染応用への期待

- 14:10-14:40 特別講演「希薄に拡散しているセシウムによる低線量率長期被ばくの影響」
(独)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター発達期被ばく影響研究プログラム
プログラムリーダー 島田 義也
14:40-15:00 特別講演「複合ナノ吸着効果を応用した極低濃度放射性セシウム粒子の高効率吸着と固定方法」
北海道大学教授 古月 文志/信州大学特任教授 鶴岡 秀志

2)革新的炭素(Inno-C)の未来

- 15:30-15:45 信州大学特別特任教授 遠藤 守信
15:45-16:00 信州大学特別特任教授 Mauricio Terrones
16:00-16:15 信州大学特任教授 Pulickel M. Ajayan
16:15-16:30 ペンシルバニア州立大学客員教授 Humberto Terrones
16:30-16:45 信州大学特別特任教授 金子 克美
16:45-17:00 信州大学特任教授 野口 徹
シュルンベルジェ株式会社開発本部長 山手 勉

第III部 カーボン科学への期待

- 17:10-17:40 特別講演 [産業界からのカーボン科学への期待]
東レ株式会社 専務取締役 阿部 晃一
17:40-17:45 閉会の挨拶 信州大学理事・副学長 三浦 義正

第IV部 意見交換会

- 18:00-19:30 ポスターセッション および 意見交換会

シンポジウム開催の趣旨

カーボン科学は炭素一元素の固体状態の科学です。しかし、グラファイト、ダイヤモンド、フラーレン、カーボンナノチューブ、グラフェン等で見られるように、カーボンには絶えずインパクトのある科学と技術を生みだしてきました。

クリーンエネルギー技術においても、カーボンが中心的役割を果たし、資源、医療技術においても、カーボンによるイノベーションが生まれつつあります。多くのカーボンでは、2重結合性の炭素原子だけで優れた固有の特性を生みだしています。炭素原子の3種類の原子価を活用して、多様な空間構造を有する革新的カーボンを創成できると、新科学の創造と人類共通の課題が解決されると期待されています。

2009年からの地域卓越研究者戦略的結集プログラム「エキゾチック・ナノカーボンの創成と応用プロジェクト」の推進によって、信州大学のカーボン科学における国際先進性は一層高まりました。信州大学発のナノチューブ利用超耐久性シール材は、石油の可採埋蔵量を倍増させました。また喫緊の課題である放射性物質の除去にもナノカーボンが威力を発揮しようとしています。本シンポジウムは、イノベーションに満ちたカーボン科学の将来及び研究推進に有益な場といたしたく存じます。



主催 国立大学法人信州大学
共催 (財)長野県テクノ財団
後援 (独)科学技術振興機構
協賛 信州大学エキゾチック・ナノカーボンの創成と
応用プロジェクト拠点、
信州大学カーボン科学研究所

お問い合わせ

信州大学Inno-Cシンポジウム委員会事務局 〒380-8553長野県長野市若里4-17-1 信州大学工学部総合研究棟8階
TEL:026-269-5756 FAX:026-269-5667
E-mail: encs_jim@shinshu-u.ac.jp

■ URL <http://www.shinshu-u.ac.jp/project/encs/>

信州大学 シンポジウム

革新的炭素Inno-C:Innovative Carbons 2012

日時:平成24年9月18日(火)13:00-19:30

会場:東京ステーションコンファレンス 6F(千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー)

お問い合わせ先 (ウェブサイトURL <http://www.shinshu-u.ac.jp/project/encs/>)

信州大学Inno-Cシンポジウム委員会事務局

〒380-8553長野県長野市若里4-17-1 信州大学工学部総合研究棟8階

TEL:026-269-5756 / FAX:026-269-5667

E-mail:encs_jim@shinshu-u.ac.jp

お申込み方法 ※お申込み締切日は平成24年9月12日(木)

①ウェブサイトの申し込みフォームからお申込みください。(URL <http://shinshu-u.ac.jp/project/encs/>)

②上記事務局へE-mailにてお申し込みください。

(パンフレット本面が申込書となっております。下記の必要事項をご記入の上、上記事務局までお申し込みください)

参加者記入欄

団体・法人名 部門名 お役職	お名前	連絡先 E-mail 電話/FAX	ご参加可能なものに○を 参加不可なものには×を記入ください	
			シンポジウム	意見交換会

申し込み条件:本シンポジウムの趣旨にご賛同頂ける研究者・技術者・産業人・その他関係される方々で定員200名を予定しております。

会場案内

【東京ステーションコンファレンス】

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号

サピアタワー4階～6階(4階受付)

JR東京駅 新幹線専用改札口(日本橋)より徒歩1分、八重洲北口改札口より徒歩2分

東京メトロ東西線大手町駅より徒歩1分

JR成田空港駅より成田エクスプレスで約60分

羽田空港第2ビル駅より東京モノレールで30分

※お車で越しの方はビル内の駐車場をご利用ください。

